

〈春は黄色から？〉

黄色い花が咲き出した。畑では菜の花や虹菜苔、公園ではヒイラギナンテン、ダンコウバイ、ミツマタが競い合って咲いている。タンポポも地面に密着したまま咲き出した。昨日、今日と暑いくらいの陽気で強い日差しに照り返されているせいか、やけに黄色い花が目立った。早咲きの桜も薄いピンク色でそれなりに目を引くが、鮮やか



〈ヒイラギナンテン〉



〈ダンコウバイ〉



〈ミツマタ〉

な黄色には勝てない。まだまだ冬枯れの様相が濃く残っているこの時期、黄色は目立つのだ。畑一面に菜の花が咲き、田んぼの畔にはタンポポの群落が咲き出す。“ああ、春が来たな~”とやっと冬から解放された人々にとって、この黄色は希望や幸せを呼ぶ色に違いない。『幸せの黄色いハンカチ』という映画があったが、長いお務めから妻の元に戻った健さんが、青空い

っぱいにはためいていた黄色いハンカチを見た時、どれほどの安堵と幸せを感じたことだろう。どうやら黄色には人を元気にし、幸せな気分にしてくれる効果があるらしい。春の虫たちも同じくこの黄色に魅せられてやってくる。人の見え方とは違うようだが、黄色は虫にとっても目立つ色でまさに幸せの色。そこにいけば花粉や蜜にありつけるありがたい色だ。一斉に咲き出した黄色い花は人にも虫にも元気と勇気と活力を与えてくれる。1年以上にもわたるこの鬱屈としたコロナ時代に終止符を打つべく、黄色の秘めたるパワーを“鬼滅の刃”に替えられたらと思う。



〈地上1センチに咲くタンポポ〉